

年末年始のご案内

十一月二十五日
御神符頒布始め

十二月三十一日
大祓式
午後五時より

正月元旦

元旦祭
開運祭
午前〇時より

正月十日

乳神神社祈願祭
子宝安産祈願
病気平癒祈願

正月十五日

どんど焼納祭
午前九時半より
甘酒・おしるこを
振舞います

二月三日

節分祭
厄除け祈願
健康祈願
午前十時・十一時
午後一時・三時
五時・六時

浦幌神社・乳神神社ホームページ <http://www.urahorojinja.org/>

浦幌神社ブログ 宮司の気ままに一筆 <http://blog.goo.ne.jp/urahorojinjya> 携帯からはこちら→



へメロカリス奉納

去る六月二十五日、石原英之様(万年)よりへメロカリス五百株をご奉納頂きました。これで境内のへメロカリスは千五百株となりました。



石原氏やすらぎ会と植栽

賽銭箱、旗用鉄杭奉納

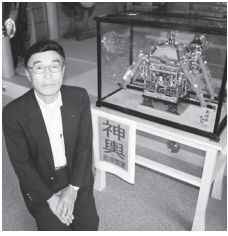
去る九月十八日、宏昌鉄工場の鈴木啓允様(宝町)より水子神社、乳石殿の賽銭箱並びに、のぼり旗の鉄杭十本をご奉納頂きました。



乳石殿の前にて

浦幌神社本神輿模型奉納

去る十月二十六日、松井繁實様(西町)より、浦幌神社本神輿の模型作品をご奉納頂きました。拝殿に展示しております。



本神輿1/4の模型

神まごんぞんが知りたい

日本人の生活に欠かせないのがお米です。今回はお米のお話です。

稲(イネ)の語源

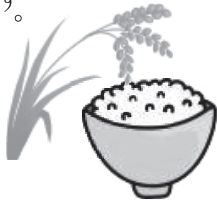
稲の語源は、命根(イノチネ)生根(イキネ) 息根(イキネ)などの意味を集約して、イネと呼ばれるようになりました。

米(コメ)・飯(メシ)の語源

米(コメ)の語源は、米には神様の霊力が籠められていると信じられ、(コメ)と呼ばれるようになったと言われている。また、飯(メシ)の語源も、神様が召し上がるものであるから、(メシ)と呼ばれるようになったと言われている。

稔りについて

「稔」の字は、「禾」+「念」です。「禾」は一般的には「のぎへん」とよびますが「イネへん」とも読みます。穀物一般の総称としても用いられ、イネを意味します。「念」は、念願することです。つまり、稲の成熟を念願することが、稔りにつながるという日本古来の教えが含まれています。



平成22年厄年一覧表

※年齢は数え年です

男性・女性の年祝

昭和25年生	61歳(還暦)
昭和16年生	70歳(古希)
昭和9年生	77歳(喜寿)
大正12年生	88歳(米寿)

女性の厄年

平成4年生	19歳(本厄)
昭和54年生	32歳(前厄)
昭和53年生	33歳(本厄)
昭和52年生	34歳(後厄)
昭和49年生	37歳(本厄)
昭和37年生	49歳(本厄)

男性の厄年

昭和61年生	25歳(本厄)
昭和45年生	41歳(前厄)
昭和44年生	42歳(本厄)
昭和43年生	43歳(後厄)
昭和37年生	49歳(本厄)

厄祓いは平成22年1月1日から、年中受ける事が出来ます。(要予約)電話 015-576-2448